

**中城ふみ子** 歌人。乳がん手術による「乳房喪失」で歌壇に衝撃与え、直後に没した。  
なかじょうふみこ  
水平社結成・1922 = 北海道帯広で、呉服商野江豊作の長女に生まれる。母はきくゑ。本名富美子。

**世界恐慌**・1929 = 7歳：帯広尋常小学校に入学。

**満州事変**・1931 = **9歳**：

**芥川直木賞始**1935 = 13歳：北海道庁立帯広高等女学校に入学。  
同窓会誌に詩や作文を発表し、演劇でヒロインを演じたりして、

**日中戦争始**・1937 = 15歳：

**第二次大戦始**1939 = 17歳：卒業。上京し、東京家政学院に入学。池田亀鑑に師事し、慶大生と知り合い、  
**大政翼賛会**・1940 = **18歳**：

**日米開戦**・1941 = 19歳：卒業して、帰郷後、しばし交際するも、自分から破談にし、  
・ ・ ・ ・ ・ 1942 = 20歳：札幌鉄道局施設部勤務の中城博と結婚、夫の転勤で道内諸都市転々としながら、

創価学会検挙1943 = 21歳：長男を出産。

年金+総武装 1944 = 22歳：次男を出産するも夭折。

**敗戦**・ ・ ・ ・ 1945 = 23歳：

新憲法公布・1946 = 24歳：長女を出産。

新憲法施行・1947 = 25歳：三男を出産。\_(**新墾**)会員となり、

極東裁判決・1948 = 26歳：\_作品を発表し始める。{**辛夷短歌会**}会員となる。夫が高松転勤となり、

三大事件・1949 = **27歳**：\_三男だけ連れて帯広に里帰り。大森卓と出会う。夫らも帯広に来るが、

**朝鮮戦争始**・1950 = 28歳：\_女性問題止まぬため別居し、

**独立回復**・1951 = 29歳：\_大森の死去後、離婚。自活めざし上京するも、帰郷。ダンス教師木野村英之介を知る。

メーデー事件・1952 = 30歳：\_帯広放送作家グループに入会。乳がんを手術。

TV放送始・1953 = 31歳：\_({**潮音**})同人となる。乳がん再発し手術。

自衛隊発足・1954 = 32歳：\_\*({**短歌研究**})第1回作品募集に応じ「乳房喪失」50首が入選、大きな反響を呼ぶが、歌集「乳房喪失」出版後、没した。"失ひしわれの乳房に似し丘あり冬は枯れたる花が飾らむ"  
遺歌集に「花の原型」がある。渡辺淳一の小説「冬の花火」はふみ子をモデルに描いた作品。